

# つばさ

第26回定期演奏会



指揮 境 洋子  
ピアノ 広瀬 美香  
協 演 マリンバ・ヴィブラフォン  
姉妹デュオ AMODA

2023 **10.1** 

13:45 開場 14:30 開演

黒崎ひびしんホール

入場無料【要入場整理券】

主催 北九州市立年長者研修大学校  
穴生学舎混声合唱団 つばさ

共催 北九州市 北九州市社会福祉協議会

後援 北九州市教育委員会

福岡県合唱連盟北九州支部

NHK北九州放送局 朝日新聞社





第25回定期演奏会 2022.10.2 黒崎ひびしんホール

## ごあいさつ

本日お越しくございました皆様、昨年に引き続き本日演奏会を開催することができます。コロナも完全に収まったとはいえないなか、来場して頂けたことに、心よりお礼を申し上げます。

混声合唱団「つばさ」は、穴生学舎コーラスコースの有志により、担当された小笠原包道先生を指導者として迎え、平成9年10月に立ち上げました。翌年第1回演奏会を開催後、双紙正俊先生が平成28年まで指導していました。その後は、現在の境洋子先生に引き継いでいただき、今年第26回を迎えることができました。これも、ひとえに当初から変わらずに応援して下さる皆様のお力添えの賜と深く感謝いたします。

発足の目的を、「合唱活動により、年長者の生涯活動をアピールし、活性化に寄与する」と掲げました。そのため、「毎年の定期演奏会で成果を発表し、様々な演奏会に参加」してきました。今年は「北九州合唱祭」に参加し、「穴生学舎大学祭」にも参加予定ですが、「ひとみらいフェスティバル」には、今年もステージ発表ができないとのことで、この定演が貴重な発表の場となります。

なお、今年も「マリンバ・ヴィブラフォンの姉妹デュオ AMODA」に協演をお願いいたしましたので、爽やかな演奏をお楽しみ下さい。

定期演奏会開催にあたり北九州市、北九州市社会福祉協議会の絶大なご支援をいただき、感謝申し上げます。今後とも変わらぬご高配をお願い申し上げます。

穴生学舎混声合唱団「つばさ」団長 内野 幾雄

# プログラム

## 1st Stage

指揮 境 洋子      ピアノ 広瀬 美香

### 混声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」

編曲 信長 貴富

- |             |    |                  |    |       |
|-------------|----|------------------|----|-------|
| 1. あの町この町   | 作詞 | 野口 雨情            | 作曲 | 中山 晋平 |
| 2. 宵待草      | 作詞 | 竹久 夢二            | 作曲 | 多 忠亮  |
| 3. ゴンドラの唄   | 作詞 | 吉井 勇             | 作曲 | 中山 晋平 |
| 4. 青い眼の人形   | 作詞 | 野口 雨情            | 作曲 | 本居 長世 |
| 5. 影を慕いて    | 作詞 | 古賀 政男            | 作曲 | 古賀 政男 |
| 6. カチューシャの唄 | 作詞 | { 島村 抱月<br>相馬 御風 | 作曲 | 中山 晋平 |

## 2nd Stage

マリンバ・ヴィブラフォン 姉妹デュオ AMODA

松本 眞弥・松本 麻里

- |                                     |    |             |
|-------------------------------------|----|-------------|
| 1. 愛の挨拶                             | 作曲 | E. エルガー     |
| 2. 若きアコーディオン奏者たちの唄                  | 作曲 | D. N. Wirtz |
| 3. 歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲          | 作曲 | P. マスカーニ    |
| 4. 「ガイーヌ」より<br>剣の舞～バラの乙女たちの踊り～レズギンカ | 作曲 | A. ハチャトゥリアン |

## 3rd Stage

指揮 境 洋子      ピアノ 広瀬 美香

### 混声合唱組曲「風のうた」

作詩 中村 千栄子  
作曲 大中 恩

1. 春の風
2. 夏の風
3. 秋の風
4. 冬の風

## プロフィール



### 指揮 境 洋子

北九州市戸畑区の私立明治学園で41年間、小学校・中学校・高等学校の音楽教諭として勤務。部活動ではコーラス部を受け持ち、NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクールに参加。全国大会において金賞受賞にも導く。2つのコンクールを通して、合唱の技術向上の場、人間的な鍛錬の場として生徒達とともに貴重な体験をした。



### ピアノ 広瀬 美香

国立音楽大学卒業。藤原千鶴子、故三宅洋一郎、菅野洋子の各氏に師事。第40回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部入選。第41回全日本学生音楽コンクール福岡大会高等学校の部3位入賞。1997年ピアノジョイントリサイタル開催。現在、伴奏を中心に演奏活動を行う。

## 第1ステージ

### 混声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」

編曲 信長 貴富

- |            |           |              |
|------------|-----------|--------------|
| 1 . あの町この町 | 2 . 宵待草   | 3 . ゴンドラの唄   |
| 4 . 青い眼の人形 | 5 . 影を慕いて | 6 . カチューシャの唄 |

ここに選ばれた6曲は、西洋音階による日本語の歌が民衆の間で親しまれ始めた大正から昭和初期の作品です。終曲「カチューシャの唄」はもともと劇中歌として作られ、たちまち日本中で歌われて中山晋平の出世作となりました。日本の歌謡曲第1号と言われてはいますが、純音楽とか大衆音楽とかの分類を無意味なものに感じさせる名曲です。その他の曲も同様で、アカデミックな歌曲とは佇まいが異なるものの、芸術の範疇に置いてまったく遜色のない歌々と言えるでしょう。

この歌曲集では華やかなピアノを伴う部分が多いのですが、それは近代日本の芸術家たちの熱情に心を寄せた結果と言えます。芸術に掛ける熱い思いはもちろんのこと、恋愛を含めた生きることそのものへの強い欲求がこの時代にはあり、熱情をくぐり抜けているからこそその美しい言葉、美しい旋律であると、私は感じているのです。

西洋音楽のスタイルを自分たちの“着物”として着こなし始めた当時の日本人の歌は、今を生きる私たちの唇にもみずみずしく息づくことでしょう。

(信長貴富氏のことばより)

## 第2ステージ

### マリンバ・ヴィブラフォン姉妹デュオ AMODA



松本真弥と松本麻里によるマリンバ・ヴィブラフォンの姉妹デュオ。

北九州市出身。武蔵野音楽大学卒業。マリンバオーケストラ「RIM」メンバー。学生時代よりそれぞれ演奏活動を開始し、2020年小倉城竹あかりを機にデュオ結成。2021年初の自主企画コンサート「AMODA CONCERT」。2023年「AMODA リサイタル」を行う。

マリンバを高松聡美、高橋美智子、吉崎りえ、ジャズヴィブラフォンを赤松敏弘の各師に師事。マリンバとヴィブラフォンの持つ可能性を広げ、ジャンルの垣根を超えた音楽に挑戦し楽器の魅力を伝えたい思いで演奏活動を行っている。



## 1. <<愛のあいさつ>>

作曲 E. エルガー

初代準男爵サー・エドワード・ウィリアム・エルガーはイギリスの作曲家、指揮者です。

もとは音楽教師でありヴァイオリニストでもあった。1888年にキャロライン・アリス・ロバーツとの婚約記念に贈った曲で、エルガーの作品中では初期のものです。

## 2. <<若きアコーディオン奏者たちの歌>>

作曲 D. N. Wirtz

アコーディオンの音やスタイルをマリンバで表現した楽曲です。

## 3. <<歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲>>

作曲 P. マスカーニ

タイトルは「田舎の騎士道」を意味します。この曲はイタリアの小説家、ジョバンニ・ヴェルガによる小説・戯曲でピエトロ・マスカーニが同戯曲に基づいて作曲した一幕物のオペラです。

舞台は、イタリア南部のシチリア島で実際に起きた、2組の男女の恋愛の悲劇がモデルになっているといわれています。

映画「ゴッドファーザー3」でも使用されている曲です。

## 4. <<「ガイヌ」より剣の舞～バラの乙女たちの踊り～レズギンカ>>

作曲 A. ハチャトゥリアン

アラム・イリイチ。ハチャトゥリアンは、旧ソビエト連邦の作曲家であり、4幕6場のバレエ音楽「ガイヌ」はハチャトゥリアンの代表作の一つです。

「剣の舞」はクルド人が剣を持って舞う戦いの踊りを表しています。

「バラの乙女たちの踊り」は軽快で可愛らしい曲です。

「レズギンカ」はコーカサス山脈に住むレズグン人の民族舞踏で、早いパッセージが激しく駆け巡ります。

# 第3ステージ

## 混声合唱組曲「風のうた」

作詩 中村 千栄子 作曲 大中 恩

混声合唱組曲「風のうた」は、1971年の夏、文化庁の委嘱により、プロ合唱団連合の為に書いたものです。中村千栄子さんの詩による合唱曲は、女声合唱組曲『愛の風船』に次ぐ混声合唱組曲です。前作とはまた趣きを異にした、構成的にも立派なスケールの大きい詩で、しかも中村さんらしい爽やかさが大いに私の作曲意欲をかきたてたものです。  
(大中 恩氏のことばより)

「風のうた」は、自然豊かな日本の四季、春・夏・秋・冬に吹く風を、南から北へと4つの地域を選び、その地の特徴をとらえた詩による4曲からなる組曲です。初曲の「春の風」は瀬戸内海に吹く穏やかな風を、「夏の風」は中部地方赤倉に吹く爽やかな風を、「秋の風」は日本の古都奈良に吹く風を、終曲の「冬の風」では、中村千栄子氏の故郷、越後に吹く厳しい風を表現しています。

風をモチーフにしたこの曲を歌っているとそれぞれの地域の特徴や情景が目に見え、中村氏の各地によせる想いが伝わってきます。季節ごとに吹く「風」を、それぞれの情景を思い浮かべながらお楽しみください。

・ ・ 裏表紙の詩を参照していただくと、よりわかりやすいと思います ・ ・

1. 「春の風」 ちらちら きらきら 四国の海は、瀬戸内の海は、幼子のよう…  
小さくて丸い浜の砂利が 波のいたずらに かわいい声をあげる----
2. 「夏の風」 池の錦鯉が おどるから 黄色いせきれいが はねるから 溢れでる湯が うたうから  
だから 赤倉はいい 何もかも 赤倉の夏は 生きている…
3. 「秋の風」 月が出て 秋と並んだ 奈良の西の京…  
荒れはてた池にうつる 月の横顔 水煙を静かにゆする 風の子守うた  
秋 日本の秋 古い都の秋
4. 「冬の風」 なぜ うめくのか なぜ あえぐのか 故郷(越後)は 風の音で いっぱいだった  
堪えに堪えたものの あきらめのうたか それとも生きることの あかしのうたか  
なんてけなげな この 鳴る風のうた

# 穴生学舎混声合唱団「つばさ」

## ソプラノⅠ

荒木 千夜子 亀田 美智子 塚本 さやか 田中 裕子 鶴田 峰子 平井 道子  
室田 美津香 山下 知子

## ソプラノⅡ

東 月子 上村 朱実 江河 たず子 桑原 真理子 佐藤 恵子 高橋 紀子  
田中 洋子

## アルトⅠ

占部 榮子 神宮 いつ子 西村 美代子 萩原 三佐子

## アルトⅡ

稲田 豊代子 河野 静江 近藤 節子 西山 明子 肘井 フミエ 水城 文子  
森田 敏子

☆は団友

## テナーⅠ

木下 修 早川 雅國 ☆萬田 義治

## テナーⅡ

松尾 温 ☆歌野原 勝信

## バリトン

内野 幾雄 山口 英明

## バス

西澤 清 ☆佐伯 宏之

## アナウンス

橋口 佳世子

練習風景



## 団員募集

つばさでは団員を募集しています

年齢制限はありません

練習日時 ●毎週土曜日 9:30~12:00

場所 ●黒崎コムシティ1階(多目的室) いつでもお越しください

練習日程はホームページ(<http://www.anoo-tsubasa.com>)に掲載しています

連絡先 ●内野 幾雄 電話 090-3327-0092 E-mail: [uchino@anoo-tsubasa.com](mailto:uchino@anoo-tsubasa.com)

# 「つばさ」のあゆみ

1997年穴生学舎コーラスコース現役・過去3年間修了者の有志により混声合唱団「つばさ」を結成

演奏会[会場]	指揮	ピアノ	協演
1998.3 第1回演奏会[響ホール]	小笠原 包道	七田 美希	高見女声コーラス
1999.8 第2回演奏会[響ホール]	双紙 正俊	岡崎 勇樹・尾田 理恵	エオリアンコール
2000.8 第3回演奏会[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美・小幡 佳代	コール北九州
2001.8 第4回演奏会[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美・野本 秀一	北九州混声合唱団
2002.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
8 第5回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美・岡崎 勇樹	コール北九州
2003.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
8 第6回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	岡崎 勇樹	中津混声合唱団
2004.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
8 第7回定期演奏会[ウエルとばた]	大中 恩	中尾 清美	横尾 真知子・肘井 千佳 花田 佳子
2005.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
8 第8回定期演奏会[ウエルとばた]	大中 恩	中尾 清美	女声コーラス「クオレ」
10 子どもフェスタ[北九州芸術劇場 大ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
11 ねんりんピック開会式[穴生ドーム]	双紙 正俊	中尾 清美	
2006.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	
8 第9回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美	若松男声合唱団
2007.4 シニアコーラスフェスティバル in みやざき	双紙 正俊	広瀬 美香	
6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[若松市民会館]	双紙 正俊	広瀬 美香	
8 第10回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	中尾 清美・広瀬 美香	若松男声合唱団
2008.4 シニアコーラスフェスティバル in 北九州[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
4 大中 恩 歌曲の世界 in 北九州[響ホール](企画・実施に参加)			
6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[若松市民会館]	双紙 正俊	広瀬 美香	
8 第11回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	新日鐵八幡合唱団
2009.4 シニアコーラスフェスティバル in 大分[iichikoグランシアタ]	双紙 正俊	広瀬 美香	
8 第12回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	新日鐵八幡合唱団
2010.4 シニアコーラスフェスティバル in 宮崎[宮崎県立劇場]	双紙 正俊	広瀬 美香	
4 日野原重明後援会“新老人の会”[ステーションホテル小倉]	双紙 正俊	広瀬 美香	
5 第13回定期演奏会[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	若松男声合唱団
		北九州シティオペラアンサンブル	新日鐵八幡合唱団
2011.5 シニアコーラスフェスティバル in 長崎[長崎市民会館]	双紙 正俊	広瀬 美香	
8 第14回定期演奏会[ウエルとばた]	双紙 正俊	広瀬 美香・中尾 清美	中津混声合唱団
11 北九州医師会コンサート[八幡医師会館]	双紙 正俊	広瀬 美香	
2012.4 シニアコーラスフェスティバル in 北九州[ソレイユホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
8 第15回定期演奏会[ウエルとばた]	双紙 正俊	広瀬 美香	若松男声合唱団
2013.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
10 第16回定期演奏会[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	若松男声合唱団
11 第1回黒崎ひとみらいフェスティバル[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
11 福岡県ねんりんスポーツ文化祭[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
2014.4 シニアコーラスフェスティバル in 熊本[熊本県立劇場]	双紙 正俊	広瀬 美香	
6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
10 第17回定期演奏会[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	若松男声合唱団
10 穴生学舎第20回大学祭&ドームフェスタ	双紙 正俊	広瀬 美香	
2015.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	
10 第18回定期演奏会[ひびしんホール]	双紙 正俊	広瀬 美香	若松男声合唱団
10 穴生学舎第21回大学祭&ドームフェスタ	佐伯 宏之	広瀬 美香	
11 第3回黒崎ひとみらいフェスティバル[黒崎コムシティ]	双紙 正俊	広瀬 美香	
2016.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	境 洋子	広瀬 美香	
10 第19回定期演奏会[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香	男声合唱団YMC菊陵中学校合唱部
10 穴生学舎第22回大学祭&ドームフェスタ	境 洋子	広瀬 美香	
11 第4回黒崎ひとみらいフェスティバル[黒崎コムシティ]	境 洋子	広瀬 美香	
2017.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	境 洋子	広瀬 美香	
10 第20回定期演奏会[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香	男声合唱団YMC菊陵中学校合唱部
10 穴生学舎第23回大学祭&ドームフェスタ	境 洋子	広瀬 美香	
11 第5回黒崎ひとみらいフェスティバル[黒崎コムシティ]	境 洋子	広瀬 美香	
2018.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香	
10 第21回定期演奏会[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香	菊陵中学校合唱部
10 穴生学舎第24回大学祭&ドームフェスタ	境 洋子	広瀬 美香	
11 第6回黒崎ひとみらいフェスティバル[黒崎コムシティ]	境 洋子	広瀬 美香	
2019.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香・石井貴子	
10 第22回定期演奏会[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香・石井貴子	ハーモニック・パル&オカリナ「青い鳥」
10 穴生学舎第25回大学祭&ドームフェスタ	境 洋子	広瀬 美香	
11 第7回黒崎ひとみらいフェスティバル[黒崎コムシティ]	境 洋子	広瀬 美香	
2020-2021 コロナ禍により全ての発表会を中止した			
2022.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	境 洋子	広瀬 美香	
10 第25回定期演奏会[ひびしんホール]	境 洋子	広瀬 美香	マリンバ・ヴァイオリン姉妹デュオ「AMODA」
2023.6 合唱祭(合唱連盟北九州支部)[響ホール]	境 洋子	広瀬 美香	

## 春の風

風のうた るらら 風のうた うたう るらる  
ちらちら きらきら 四国の海は 瀬戸内の海は 幼子(おさなご)のよう……  
さっきから あどけない つぶやきを 飽きもせず くり返す——  
小さくてまるい浜の砂利が 波のいたずらに かわいい声をあげる——  
駆けつづけてきた少女の あまく香る うなじのうぶ毛が かすかに波うつのは  
やさしい風が くすぐるからかしら うつとりと 砂浜にねて 春の午後 四国の海の 快い風のうた  
海と少女の とりとめのない対話

## 夏の風

池の錦鯉が おどるから 黄色いせきれいが はねるから 溢れでる湯が うたうから  
だから 赤倉は いい 何もかも 赤倉の夏は 生きている  
蝶々がいる 鬼やんまだって 部屋に飛びこんでくる  
みんな子ども達のように ぴちぴちとした 自然 すっかんぽに 口をつぼめ あざみを摘んで  
竹筒に活けるのは わたし  
笕(かけい)の水と 長いこと おしゃべりしてる それは だあれ？  
杉の木立で ぶらんこしてる あれは だれ！  
こっそり あなただけに 教えましょうか それは 朝の風 一番早起きの お茶目な空の坊やなのよ

## 秋の風

月が出て 秋と並んだ 奈良の西の京——  
さっき 法隆寺で 出会った 味気ない 日本の伝統——  
コンクリートの家にとじこめられた 仏さんたちの悲しみが ひたひた音をたてる  
白い道を ただ歩く ひたすらに と 浮かび上った ほんものの奈良  
小さくて 大きい 法起寺の 三重の塔 こぼれ落ちそうな 寺の建物のかけに  
ゆったり腰をおろす この充実感 荒れはてた池にうつる 月の横顔 水煙を静かにゆする  
風の子守うた 秋 日本の秋 古い都の秋

## 冬の風

なぜ うめくのか なぜ あえぐのか  
故郷(ふるさと)は 風の音で いっぱいだった その中で 育(はぐ)まれたはずなのに  
すっかり 忘れていた この風のざわめき さび鉄色の嘆き—— ぐみの枯葉色の しわぶき——  
仲間と 一緒に 立ちつくしながら ひどく 孤独な たもぎの木たちが 田んぼのどろ水をなめなめ  
米山おろしを その横つつらに うけ それでも その泣つつらで 伏し目がちに  
足元の一点を見つめる なんて けなげな 越後の冬——  
なぜ うめくのか なぜ あえぐのか ひどく 人間的な この 風のうた 堪えに 堪えたものの  
あきらめのうたか それとも 生きることの あかしのうたか なんて けなげな この 鳴る風のうた  
風のうた るらら 風のうた うたう るらる